

## 5 重点目標

重点目標 1	国公立大学合格者50人、難関私立大(早大、慶大、上智大)合格者70人
重点目標 2	学校評価アンケート「学校は国際教育に積極的に取り組んでいる」80%
重点目標 3	朝のHRの遅刻者数 3000以下
重点目標 4	自宅学習時間の確保 1、2年生 2時間 3年生 2時間30分 4、5年生 3時間+eポートフォリオ
重点目標 5	学校評価 生徒の満足度85% 保護者の満足度85%

## 6 GD コモンルーブリック(育成すべき資質・能力)

★地球市民教育のキーワード:グローバル・ローカル、当事者意識、批判的分析、創造的、革新的、問題解決、課題解決、対話的姿勢、公正、平和、寛容、安全、持続可能、社会への積極的関与・貢献、責任、協働、相互依存

重要概念	主な領域	本校のミッション 育成すべき資質・能力	地球市民性 (国際性・リーダーシップ) を育む3段階			地球市民性の キーワード ↓			
			フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
International Contribution (共生への行動)	Team Working (感動の共有)	Resilience (しなやかな粘り強さ)	Ambition (立志の精神)	進路	意思決定力 [創造し切り拓こうとする態度]	自己の個性を知り、他者と <b>対話</b> 、 <b>協働</b> する体験を通して自らの <b>課題</b> を発見することができる	目標達成や <b>課題解決</b> の過程に生ずる困難や葛藤に向き合い、安易に妥協せず、諦めずにそれらを克服しようとする	目標達成や <b>課題解決</b> に向け <b>創造力</b> を駆使して考察、分析し、自らの <b>責任</b> で決定し、勇気をもって実行することができる	課題解決、創造的、対話的姿勢、協働、責任
					将来設計力 [将来をデザインする力]	勤労の意義と目的を知り、様々な職業に関する知識や体験を積み上げ、 <b>地域</b> や <b>社会</b> に <b>貢献</b> しようとする姿勢をもつことができる	社会の現状を <b>自分事</b> として捉え、自らの生き方を模索し、夢や希望をもって自己の将来像を設計することができる	<b>地球市民</b> としての <b>責任</b> を自覚し、 <b>持続可能</b> 社会と自らの夢の実現のための進路をデザインすることができる	地球市民性、持続可能、責任、グローバル・ロー
					自己価値感 [自分を認める姿勢]	自らの存在や個性について考え、自分には価値があることを知り、そのことを肯定的に捉えることができる	自己の体験や行動を振り返り、自分も周囲にとって有用であることを認め、自らの <b>責任</b> を果たそうとすることができる	自己の個性や能力をメタ認知し <b>自ら率先して</b> 周囲や <b>社会</b> に良い影響を与えようと発言したり行動したりすることができる	リーダーシップ、社会貢献、責任
				学習	探究心 [知識や情報を自ら獲得する探究心]	様々な情報ツールを活用して、知識や情報を自ら獲得し、活用しようとする	疑問や違和感をそのままにせず、その背景・目的・原因、実際の様子などを多角的に探究し <b>新たな見方・考え</b> 方を獲得することができる	自ら課題を設定し、周囲と <b>対話</b> ・ <b>協働</b> することで課題に対する理解を深め、より <b>平和</b> 的で <b>安全</b> な社会づくりについて探究することができる	対話的姿勢、創造的、協働、平和、安全
					思考力 [知識を獲得し、関連付け、新たな価値を見出す力]	言語技術や各教科の基礎的な知識・技能を獲得し、それらを教科横断的な視点で関連付けることができる	1つの知識を多面的に理解し、状況に応じて活用し、知識と知識を論理的に結び付けて表すことができる	得た知識や情報をそのままは認せず、文脈や背景を調べ、 <b>分析</b> し、 <b>批判</b> 的に思考した結果 <b>新たな視点</b> を見出すことができる	批判的分析
					人の心を動かす表現力 [自分の考えを相手に納得してもらえるよう伝える力]	<b>相手</b> が理解しやすい言葉と身ぶり手ぶりや表情で、自分の考えを一生懸命伝えようとする	<b>相手の考えや立場、気持ち</b> を理解した上で、自分の考えを構成し、相手の気持ちに届く方法で話したり書いたりすることができる	<b>様々な問題を自分事として捉え</b> 、自らの考えを論理立てて話したり書いたりして、 <b>相手に納得してもらえるよう熱意</b> をもって伝えることができる	地球市民性、当事者意識、対話的姿勢
				生活	自律心 [自分を律し主体的に学習の計画を立て実行する姿勢]	「短期的な学習計画を立て、実行し、成果を振り返り、計画を改善し、再び取り組む」というサイクルを回すことができる	自らの興味・関心や将来設計に基づき、目的をもって中・長期的な学習計画を立て、実行することができる	あらゆる学習が <b>課題解決</b> や目標達成に結び付くことを理解し、主体的かつ戦略的に学習に取り組むことができる	課題解決
					コミュニケーション力 [対話を通して対立を乗り越え協働しようとする力]	相手の話を最後までよく聞き、受容し、文脈に沿って自分の考えを分かりやすく伝えることができる	集団やチームにおいて目的を共有し <b>協働</b> して目標を達成したり、自分の役割を理解して集団等を <b>率</b> いたりすることができる	建設的な <b>対話</b> や交渉で対立を乗り越え、 <b>革新的</b> な解決策や <b>新たな考え</b> を生み出すことができる	リーダーシップ、対話的姿勢、革新的、協働
					寛容な態度 [多様性を尊重し自分事として受け入れようとする態度]	私たちが住む <b>世界</b> は、文化、宗教、国籍、年齢、性別などが異なる人同士が <b>共に助け合い</b> ながら生活する多様性社会であることを理解することができる	クラスや学校など、身近な社会もまた多様性社会であることを受け入れ、お互いの違いを <b>認め合い、尊重し合う</b> ことができる	自らも多文化共生社会に生き、その多様性の一部であることを認識し、 <b>地域</b> や <b>世界</b> の問題を <b>自分事として捉え</b> 共感することができる	寛容、グローバル・ローカル、当事者意識、協働
				人権感覚・規範意識 [人権感覚を身に付け、ルールやマナーを守ろうとする態度]	基本的な生活習慣を身に付け、学校や社会で守るべきモラルやルール、マナーを守ることができる	基本的な人権感覚を身に付け、相手を傷つける言動を取るのではなく、思いやりをもって相手に接することができる	フェーズ1、2の内容を集団で醸成し合う <b>自治活動</b> などを行い、 <b>地域社会に積極的に関与・貢献</b> することができる	リーダーシップ、社会への積極的関与・貢献	

自分→学校→ローカル(地域)→グローバル(地球)